

第2学年 学級活動学習指導案

1 題材名 野菜のひみつを見つけよう

2 題材について

- (1) 本題材の重点指導事項は、小学校学習指導要領解説特別活動編第3章第1節学級活動の2「内容(2)エにおいて示されている「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」である。給食の時間を中心としながら、健康に良い食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して人間関係をよりよくすることが求められている。本題材では、苦手な児童が多い「野菜」を取り上げ、それぞれの野菜がもつ栄養や働きについて理解を深め、よりよい食生活を形成していこうとする意欲を高めることをねらいとする。また、生活科での「大きくそだて わたしの野菜い」との関連を図りながら学習を進めることで、より意欲をもって取り組むことができると考える。
- (2) 本学級の児童は、第1学年で、学級活動「好き嫌いをなくそう」において、食べ物は3つの色(赤・黄・緑)に分けられ、それぞれが異なる働きをもつことを学習している。本学級の児童では、特に野菜が苦手な児童が多く、特定の野菜を減らすことが多かったり、味付けによってはほとんど野菜を食べることができなかつたりする児童もいる。野菜が苦手な児童が多く、野菜は体に良いものと何となく知ってはいるものの、実際に食事の場面になると、苦手な野菜を摂ることを避けてしまう傾向にある。それぞれの野菜のもつ働きや役割について知り、「野菜を食べる理由」を考える活動は、これからの児童の給食をより望ましいものにしていくために、効果的であると考え。
- (3) 児童が、給食に関する自分の課題に気づくことができるように、毎日の給食を食べる前に撮影し、食事の摂り方について振り返る活動を授業の導入で取り入れる。数日分の給食を振り返らせることで、例えば、「つい苦手なニンジンが入っているメニューを減らしてしまう。」という課題に気づくことができると考える。また、ゲストティーチャーとして、栄養教諭を招き、専門的な知識を交えて、それぞれの野菜がもつ役割について、説明する場を設ける。その際に、野菜の働きを「〇〇マン」といった呼び名に言い換えることで、子どもたちが親しみをもちながら理解できるように工夫する。また、水分量や食物繊維など、子どもたちが言葉での説明だけでは理解しにくいものは、実際に野菜を絞ったりすることで、子どもたちが実感できるように支援を行う。さらに、一人ひとりがよりよい食生活にするための具体的な目標をもつことができるよう、目標を交流する活動を設定し、友だちの意見をもとに、考えを広げたり深めたりできるようにする。また、家庭科の見方・考え方の素地を育てるために、振り返りで「健康」に関連する意見や発言を取り上げ、カードなどの視覚的支援を用いながら、価値づけを行う。また、アレルギーへの配慮や個の食事量が異なることも考慮し、無理をしないよう指導を行い、些細な変化であっても、学習後の個々の伸びや意識の変化を価値づけ、称賛していくようにする。

3 題材の目標

- それぞれの野菜がもつ働きが異なることを理解することができる。
- 野菜を食べる理由について、生活経験とつなげながら考えることができる。
- 自分の食生活を見直し、どの野菜もバランスよく食べようと意欲をもつことができる。

4 学習指導計画(全3時間 本時 1/3)

次	時	主な学習活動	指導上の留意点
1	1	野菜の働きについて知り、食生活に関する目標を立てる。	・給食の野菜の摂り方に関する課題を自覚できるようにするために、タブレットで給食の写真を撮影させる。
		②野菜のひみつを知って、元気な体を作りたいな。	
	2	友だちと意見交流をしながら、前時の目標を達成するための作戦会議を行う。	・アレルギーや個の食事量に配慮し、無理のない作戦を立てるように助言し、個の伸びや頑張りを評価するようにする。
	3	作戦を実践した結果について話し合い、学習を振り返る。	・学習前後の自己の変容に気が付けるようにするために、タブレットでの給食の写真撮影を継続させる。

5 本時の学習指導案

(1) 目標

- それぞれの野菜がもつ栄養や働きについて知り、自分の食生活をよりよくするための目標をもつことができる。

(2) 学習指導過程

	学 習 活 動	予想される児童の反応	教師の支援活動・評価
気付く	1 給食について話し合う。	・ ぼくは、野菜をあまり食べていないなあ。にんじんが苦手だからつい減らしてしまうよ。 ・ わたしたちのクラスは、野菜が苦手な子が多いみたいだね。	・ 自分の食生活を振り返り、課題を見つけるために、自分が食べた数日分の給食の写真を撮影させる。 ・ 特に「野菜」に関する課題が多いことに気付かせるために、個々の課題をタブレット上に表記したものを集約して大型テレビに映す。
	2 なぜ、野菜を食べるのかについて話し合う。	・ よくお母さんに「食べなさい。」と言われるから、野菜を食べるようにしているよ。 ・ 野菜を食べると元気になることは知っているけれど、どうしてなのかは知らないな。	
考える・伝える	3 栄養教諭からそれぞれの野菜がもつ働きについて話を聞く。	② やさいには、どんな はたらきがあるのかな。 ガードマン ・ ピーマンやニンジンなどの色の濃い野菜には、病気を防ぐ働きがあるんだね。 アイスマン ・ きゅうりなどの水分が多い野菜は、体を冷やす働きがあるんだね。 すっきりマン ・ どのお野菜にもお腹の調子を整える働きがあるんだね。特に、大根などの根菜に多いんだな。	・ 野菜の働きを予想させることで、「野菜のはたらきを知りたい。」と学習課題に対する意欲を高める。 ・ 児童がより野菜のはたらきに興味をもつことができるように、栄養教諭をゲストティーチャーとして招く。 ・ 野菜の働きを「〇〇マン」と名付け、児童が親しみをもてるようにする。 ・ 「水分」や「食物繊維」を実感できるように、実際に絞ったり、残った繊維を大型テレビで提示したりする。
	4 まとめをする。	③ にんじんは、ガードマンで、もやしはアイスマンかな。たまねぎは、アイスマンがすっきりマンで迷ったけど、すっきりマンなことが分かったよ。 ④ やさいには、たくさんのえいようがあり、それぞれの やさいによって はたらきが ちがう。	
生かす	5 これからの給食での野菜の摂り方について目標をもつ。	・ ぼくは、ガードマンが少なかったよ。風邪などの病気にならないために、苦手なニンジンをもう1口多く食べたいな。 ・ わたしは、あまり野菜を減らしていないから、これからも続けるよ。特に、これから暑くなるから、アイスマンのお野菜を食べるようにしたいな。	⑤ これから、給食で気を付けたいことは何か。 ⑥ 自己の食生活に課題をもち、よりよい食生活にするための目標を考えることができる。 ○ 友だちの意見を聞き、多様な考え方に気付かせるために、意見交流の場を設定する。 ・ 意見交流をしたことで、考えが変容したり深まったりした児童の発言を見方・考え方カードを使って価値づけする。 ・ 家庭科の見方・考え方である「健康」の視点を育むため、振り返りで「元気な体」など健康に関連する意見を取り上げ、価値づける。 ・ アレルギーへの配慮や個の食事が異なることも考慮し、目標達成のため無理をしないように指導を行う。
	6 次時の活動の見通しをもつ。	・ 少しでも苦手な野菜をバランスよく食べられるように頑張りたいけど、いい作戦はないかな。友達の見聞も聞きながら考えたいな。	

月 日 名前 ()



野さいを たべると どんないいことが あるのかな。

野さいの はたらき



マン

はたらき

たとえば

などの 野さい



マン

はたらき

たとえば

などの 野さい



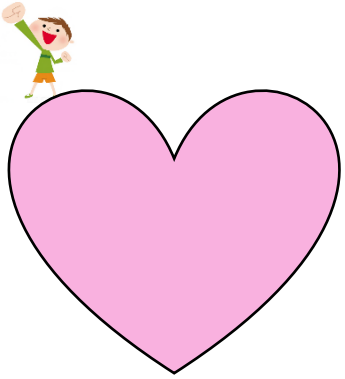
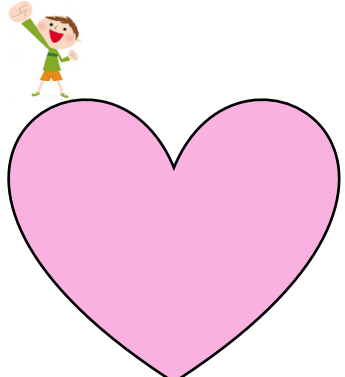
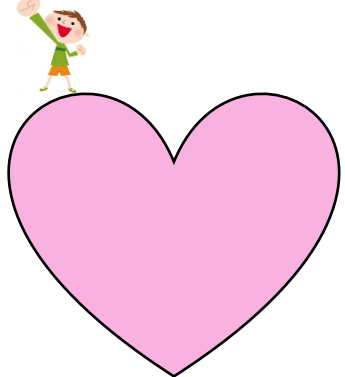
マン

はたらき

たとえば

などの 野さい



日にち	今日のお野さい 元気メーター	ふいかえり
		きゅうしょくのみひょう
		さくせん名
		けっか

働き

やさいが にが手...

どうして やさいを たべないと いけないの？

体にいい
びょうきになりにくい
バランス
体ちょうをととのえる



? 野菜をたべるとどうして元気になるのかな



はたらき ガードマン

びょうきをふせぐ



ピーマン

いろ
色のこい
野さい



はたらき スッキリマン

おなかスツクリ



レタス

せんいの多い
野さい



だいこん



はたらき アイスマン

からだをひやす



もやし

すいじん
水分の多い
野さい

ま ガードマンやスッキリマン、アイスマンのはたらきがあり、元気になる。

これから

スッキリマンをたくさんたべたいです。
元気な体をつくりたい。
たくさん〇〇マンをたべたい。

もっと元気な
2西になる!!